

團伊玖磨生誕100年記念 2024年9月29日(日)八丈町多目的ホール「おじゃれ」

「筑後川 IN 八丈島 2024」参加者募集！

團伊玖磨と八丈島



團伊玖磨は1924年(大正14)4月7日東京生まれ。青山学院中等部在学中に音楽家を志し山田耕作に師事。42年東京音楽学校(現東京芸術大学)作曲科に入学。44年陸軍戸山学校音楽隊に入隊。45年終戦とともに復学し、同年卒業。この時期に『花の街』、49年『ぞうさん』、52年の『夕鶴』をはじめ数々の名曲を残す。2001年5月17日、中国・蘇州で急逝した。

團伊玖磨と八丈島の縁は、1962年山田耕作に伴われ初来島したときに始まる。團はメリハリの利いた島の自然がたいそう気に入り、翌63年櫻立に仕事場を完成させ創作の拠点とした。1970年8月、「八丈島の人々に芸術の薫り高い音楽を」と、「團伊玖磨 夏の夜のコンサート」を開催、内外の一流音楽家の出演する音楽会は、島の人々の夏の楽しみの一つとなり、聴衆でいっぱいになった。73年、團の功績に対し、八丈町は「名誉町民」の称号を贈った。

團は盛んな音楽活動のかたわら頻繁に外国を訪れ、国際交流にも貢献した。『パイプのけむり』などの著作は人生と文明への深い洞察に裏付けられた文章で、多くの読者を魅了した。1999年、文化功労者に列せられた。

八丈島の自然に癒され、島のすばらしさを伝える文章を数多く遺した。

93年二男紀彦の設計による広い石畳の庭とステージを備えた新しい仕事場が完成し、2002年5月から團伊玖磨を偲ぶ地域住民のコンサートが開かれた。

この「筑後川」合唱組曲は八丈島の櫻立にあるアトリエで完結した。地元の合唱団「八丈混声合唱団」は團作品の多くを精力的に歌い継いでいる。

混声合唱組曲『筑後川』

1968年に作られた作品、丸山豊の詩『筑後川』は、九州の中央部にそびえる阿蘇山に降った雨が、小さなせせらぎから大河となって有明海にそぞぐまで描いている。この曲は日本の代表的な合唱曲として知られ、特に「河口」は全国の中学校の卒業式で歌われる歌としてベスト3に入る人気曲となった。2015年11月1日、八丈町多目的ホール「おじゃれ」で行われた『筑後川 IN 八丈島 2015』では、全国から集まった合唱愛好者240人による大合唱が行われた。

申込書

お名前
フリガナ

住所
〒

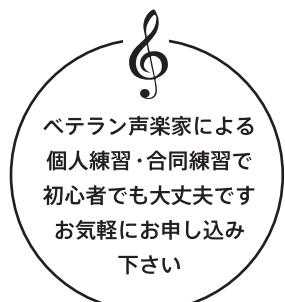
連絡先 電話

メール

所 属 学校・クラブ

希望パート 未定 sop. alt. ten. bas.

(個人情報は保護されます)



申込書を下記にFAXか、写真をメールして下さい。その他ご不明な点はお問合せください。

FAX: 04996-2-4949

メール: bbki8jo@yahoo.co.jp

電話: 090-2443-0184

筑後川実行委員会
八丈混声合唱団 代表 山下 行き